

ソーシャルメディアポリシー・ガイドライン（2025年改訂版）

一般社団法人日本摂食障害協会（JAED）

本ポリシーは、一般社団法人日本摂食障害協会（以下、「JAED」という）がソーシャルメディアを通じて情報発信および運営を行う際の基本姿勢と責任範囲を定めるとともに、協会関係者および発信者に向けたコミュニケーションの指針を示すものである。

ソーシャルメディアの影響力を十分に認識し、発信内容によるトラブルを未然に防止するため、ルール・手順・禁止事項を明示し、クレームや炎上等の事案発生時の対応方針を定める。

I. ソーシャルメディアポリシー

JAED 公式アカウントおよび関係者が行う発信にあたっては、以下の原則を遵守する。

1. 法規・ルールの遵守

法令、各 SNS プラットフォームの利用規約およびコミュニティガイドラインを遵守し、良識ある社会人として責任ある発信を行う。

2. 発信の責任と自覚

不特定多数が閲覧可能であり、一度発信された情報は完全に削除できないことを常に意識する。発信内容の影響を自覚し、正確性と誠実性を重視する。

3. 健全なコミュニケーションの促進

傾聴の姿勢を持ち、利用者から得られた意見を協会活動の改善および発展に活かす。

4. 安全性と多様性の尊重

利用者の多様な立場を尊重し、摂食障害に関する偏見や差別を助長しない。

II. ソーシャルメディアガイドライン

関係者および投稿者は、以下の事項を遵守しなければならない。

1. 各種法令・規約の遵守

- 名誉毀損、差別的表現、知的財産権侵害に該当する内容を禁止する。
- 各 SNS プラットフォーム（例：Meta/Instagram「ヘルスに関するセンシティブなコンテンツ規約」、TikTok「摂食障害関連コンテンツ規制」）に準拠した内容とする。

2. 正確な情報発信

- 虚偽または誇張表現を避け、信頼できる根拠に基づいた情報を提供する。
- 誤情報を発信した場合は、速やかに訂正および謝罪を行う。

3. 守秘義務および機密情報の保護

- 個人情報や臨床データなど、機密性の高い情報を不用意に発信しない。

4. 個人情報・プライバシー保護

- 顔写真や個人が特定される情報の発信は、本人の同意を得た場合に限る。
- 一度公開された情報は完全に回収できないことを理解し、慎重に取り扱う。

5. 不適切な発信の禁止

- 営利目的の過度な宣伝、政治・宗教活動の発信を禁止する。
- 個人的な商品・店舗・会社の宣伝、アフィリエイトリンク、マルチ商法等に関する投稿を禁止する。
- 摂食障害を悪化させる危険性のある表現（体重数値の提示、排出行為の方法共有など）を禁止する。

6. 摂食障害に関する「効果的な情報」と「危険な情報」

禁止される画像・ビジュアルコンテンツ

- ダイエットのビフォーアフター画像
- やせ衰えた身体の写真・動画
- 摂食障害行動を美化・称賛するビジュアル画像
- 極端な体型変化を示す画像比較
- 骨格が顕著に見える身体画像
- 排出行為や自傷行為に関連する画像

禁止される表現・情報

- 摂食障害行動や思考（白黒思考、完璧主義等）の美化
- 摂食障害が「一生治らない病気」であるかのような表現
- 体重・BMI・洋服サイズなどの具体的数値の記載
- 摂取カロリー、下剤の錠数、運動時間など具体的数値の提示
- 排出行為（嘔吐、下剤乱用等）の方法の説明
- 摂食障害行動を隠す方法・テクニックの共有
- 特定食品を「良い／悪い」と分類する表現
- 極端な食事法（糖質制限、オーガニック至上主義等）の過度な推奨
- 「やせることが幸福や成功につながる」とするメッセージ
- 摂食障害の精神症状に偏見を与える表現（例：「頭がおかしい」等）
- 自傷行為の詳細な記述

誤情報・不適切な医療情報

- 虚偽または根拠のない情報の発信
- 医学的根拠のない治療法の推奨
- 専門的治療の代替として不適切な方法の勧奨
- 医療専門家の助言なしに特定治療法を断定的に推奨すること

7. 推奨される発信内容（効果的な情報）

正確で希望のあるメッセージ

- 摂食障害は特定の個人や家庭環境のみに起因するものではない。
- 適切な治療と支援により回復・完治が可能である。
- 回復には時間がかかるが、多くの人が改善している。
- 早期発見・早期介入の重要性を啓発する。

当事者の尊厳を守る表現

- 当事者の人権を尊重し、パーソン・ファースト言語を使用する。
- ステイグマ（偏見）を助長しない表現とする。
- 体重や体型に焦点を当てない表現を心がける。

科学的根拠に基づく情報

- 摂食障害の生物学的・心理的・社会的要因の説明
- 不必要なダイエットの危険性の提示
- 過食・排出行為の身体的・精神的リスクの説明
- バランスの取れた食事と適度な運動の重要性の提示
- 食品を「良い／悪い」と二分しない考え方の推奨

社会的メッセージ

- 「やせ称赞文化」への批判的視点の提示
- 多様な体型の肯定（ボディポジティブ／ボディニュートラル）
- 外見以外の価値を重視する社会的発信
- 健康的で現実的な自己像の形成支援

投稿前チェックリスト

- ☐ 内容は正確で信頼できる情報源に基づいているか
 - ☐ 誰かを傷つける可能性がないか
 - ☐ 摂食障害を悪化させるトリガーとなる表現を含んでいないか
 - ☐ プライバシーや個人情報が保護されているか
 - ☐ 著作権その他の権利を侵害していないか
 - ☐ 誤解を招く表現がないか
 - ☐ ハッシュタグが適切であるか
-

Ⅲ. 炎上・トラブル対応

1. 初動対応：不適切投稿やクレーム発生時は速やかに削除・事実確認を行う。
 2. 関係者対応：理事および担当者へ報告し、公式見解を整理する。
 3. 利用者対応：誠実かつ透明性をもって説明し、改善策を提示する。
 4. 再発防止：発信フローや承認体制を見直す。
-

Ⅳ. 運用体制

- JAED 広報担当者を中心に運営し、理事会にて定期的にレビューを実施する。
 - 関係者に対し年次研修を行い、SNS 規約や社会的動向に応じて内容を更新する。
-

Ⅴ. 注意事項

- 本ポリシーは海外団体（例：オーストラリアの摂食障害関連団体）および各 SNS プラットフォームの最新ポリシーを参考に策定している。
 - ソーシャルメディアでの情報の取得・利用・発信は各自の判断と自己責任において行うものとし、当協会は利用者の発信行為に直接の責任を負わない。
 - 協会の公式見解は、公式ウェブサイトおよび認証済み公式アカウントからの発信のみとする。
 - 第三者による投稿内容について、協会は責任を負わない。
-

Ⅵ. 参考

《対象とするソーシャルメディア》

本ガイドラインは、以下を含むすべてのソーシャルメディアに適用する。

<主要 SNS>

X (旧 Twitter)、Instagram、Facebook、LINE、TikTok、YouTube、Threads など

<その他>

ブログ、note、電子掲示板、Slack 等のコミュニティプラットフォーム、ライブ配信サービス (Twitch、ツイキャス等)

プラットフォーム別の注意点 (参考)

- X (旧 Twitter)：文字数制限により誤解を招きやすいため、簡潔で正確な表現を心がける。引用リポストによる批判的言及に注意する。
- Instagram：画像選定に特に留意し、ストーリーズ等短期投稿においてもガイドラインを遵守する。
- TikTok：短尺動画の拡散力が高く、若年層への影響が大きいため、トリガーとなる

コンテンツに細心の注意を払う。

- YouTube：長尺動画では情報の正確性を重視し、コメント欄の管理を徹底する。
- LINE：個人情報の取扱いに特に注意し、グループ内の発言も公開情報に準じて扱う。

<参考文献・ガイドライン>

- Meta Platforms, Inc. *Community Standards* (2025 年版)
- TikTok *Community Guidelines* (2025 年版)
- YouTube *Community Guidelines* (2025 年版)
- Doley, J.R., Hart, L.M., Stukas, A.A., Morgan, A.J., Rowlands, D.L., & Paxton, S.J. (2016). *How should we talk about eating disorders?* La Trobe University.
- オーストラリア摂食障害関連団体ガイドライン
- 各種 SNS プラットフォームのコミュニティガイドライン
- 日本国内関連法令（個人情報保護法、医療法、景品表示法 等）

お問い合わせ先

本ガイドラインに関するお問い合わせは、下記まで連絡すること。

一般社団法人日本摂食障害協会（JAED）

info@jafed.jp

附則

- 制定日：2021 年 3 月 16 日
- 改訂日：2025 年 10 月 1 日

※本ポリシーは、摂食障害に関する最新の知見、ソーシャルメディアの動向、各プラットフォームの規約変更等に応じて、随時改訂するものとする。